

事務事業名		森林総合利用施設管理運営事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																									
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成3 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興																													
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実																													
根拠法令						予算科目 <table border="1"> <tr> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業</th> </tr> <tr> <td>01</td> <td>06</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>01</td> </tr> </table>		会計	款	項	目	事業	01	06	02	03	01														
会計	款	項	目	事業																											
01	06	02	03	01																											
所属	部課名	農林水産部 農林課																													
	課長名	田中聖一																													
	係名	林業係	電話	27-3111																											
	担当者	古内文人	内線	7125																											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・森林総合利用施設(フレアイランド尾崎岬)を市民や観光客に快適に利用してもらうための事業。 (施設内容:コテージ、バンガロー、キャンプサイト、多目的広場、バーベキューハウス、管理棟) ・受付、管理、料金徴収、設備の保守点検を指定管理者に委託し、宣伝、修繕等を直営で実施している。 ・事業費は、指定管理者への委託料等に支出される。						全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																													
		都道府県支出金																													
		地方債																													
		その他																													
		一般財源																													
	事業費計(A)	0																													
	人件費	正規職員従事人数																													
延べ業務時間																															
人件費計(B)		0																													
トータルコスト(A)+(B)		0																													

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																		
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・森林総合利用施設(フレアイランド尾崎岬)の受付、管理、清掃、料金徴収、設備の保守点検を指定管理者に委託し、宣伝、修繕等を直営で実施した。 ・台風による倒木により受水槽が破損したため、受水槽を交換した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・森林総合利用施設(フレアイランド尾崎岬)の受付、管理、清掃、料金徴収、設備の保守点検を指定管理者に委託し、宣伝、修繕等を直営で実施する。 ・施設の修繕を計画的に行う。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 営業日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ 修繕件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 営業日数	日	イ 修繕件数	件	ウ		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 維持管理面積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>キ 本年度利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 維持管理面積	m ²	キ 本年度利用者数	人	ク	
名称	単位																	
ア 営業日数	日																	
イ 修繕件数	件																	
ウ																		
名称	単位																	
カ 維持管理面積	m ²																	
キ 本年度利用者数	人																	
ク																		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 フレアイランド尾崎岬 利用者(市民、観光客)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 施設不具合件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 宿泊を伴わない施設利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス 宿泊した施設利用者数</td> <td>人</td> </tr> </table>	名称	単位	サ 施設不具合件数	件	シ 宿泊を伴わない施設利用者数	人	ス 宿泊した施設利用者数	人									
名称	単位																	
サ 施設不具合件数	件																	
シ 宿泊を伴わない施設利用者数	人																	
ス 宿泊した施設利用者数	人																	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設の適切な管理が行われ、利用者に安全で快適に利用していただき、市民や観光客の利用の増加を図る。																		
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 体験してもらう。 宿泊してもらう。																		

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度 単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円		4,990				
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円		3,290	4,500			
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	6,626	6,415	9,991	8,676	6,665	6,501
	事業費計 (A)		千 円	6,626	14,695	14,491	8,676	6,665	6,501	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	100	200	150	100	50	100	
		人件費計 (B)	千 円	400	800	600	400	200	400	
トータルコスト(A)+(B)		千 円	7,026	15,495	15,091	9,076	6,865	6,901		
⑤活動指標			ア	日	365	366	365	365	365	366
			イ	件	2	6	6	3	3	3
			ウ							
⑥対象指標			カ	m ²	232,826	232,826	232,826	232,826	232,826	232,826
			キ	人	22,872	10,864	13,863	25,000	25,000	25,000
			ク							
⑦成果指標			サ	件	2	6	6	3	3	3
			シ	人	17,824	3,195	9,863	19,800	19,800	19,800
			ス	人	5,048	7,669	4,000	5,200	5,200	5,200

事務事業ID	0571	事務事業名	森林総合利用施設管理運営事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
林業従事者の保養施設を兼ねたレジャー施設を建設するため、林業構造改善事業を導入して実施した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
リゾートブームの沈静化に加え、バブル崩壊後の長期不況により、旅行人口が減少している。 キャンプデッキ、トイレ、バンガローなど屋根のかかっている部分の腐食が進んでいる。 ガスコンロをはじめ新築当時から使用している備品の耐用年数が経過している物が多くなっている。 木製遊具が耐用年数を待たずに使用不能になっている物もあり、他の物も毎年の補修では対応しきれないほど腐食してきている。 震災復興を行う、ボランティアや建設業者等がコテージ・バンガローを利用している。中学校の仮設校舎が設置されている。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
利用者から、少人数で宿泊した場合のバンガローの料金が高いと言われている。 利用者から、バンガローやコテージから「海が見えない。」と言われることがある。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	観光業の振興には結びついているが、林業の振興には結びついていない。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	観光業的な要素が強い施設であり、市が直接行わなければならないものではない。 ただし、市が事業主体として国庫補助事業を導入して設置した施設であることから、事業の廃止・譲渡をする場合、補助金を返還しなければならない。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	フレアイランド尾崎岬の適切な管理により安全で快適に利用してもらうこと、利用者(市民、観光客)の利用の増加を図ることは対象・意図として妥当である。	
効率性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	他の施設との優位性(新しい、安い、心地よい)を確保できれば可能。 市内他施設との幅広い連携を図り、一体的な観光PRをしていくことが必要。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	市の観光客の減少につながる。 市が事業主体として国庫補助事業を導入して設置した施設であることから、事業の廃止・譲渡をする場合、補助金を返還しなければならない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	市内に他の類似施設がない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】	
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	すでに、平成18年度から指定管理者制度の導入により事業費の削減に努めた。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	すでに、平成18年度から指定管理者制度の導入により事業費の削減に努めた。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	指定管理者の選定にあたっては、公募制を採用し公平に行った。 委託業務の仕様書には、利用者について公平性を欠くことのないよう明記している。	

事務事業ID	0571	事務事業名	森林総合利用施設管理運営事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	・利用者を増やすためには、施設の快適性、PRが重要であるが、経費節減のためその分に十分な対応ができていない。 ・全国各地に本施設と同等の機能を持つ施設が点在している為、いかに差異化を図るかが重要となっているが、十分な差異化を図れていない。																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・木製遊具の抜本的な修繕を年次計画で行い、利用者の利便性を高めて誘客に結びつける。 ・老朽化しているガステーブルを更新し、利用者の利便性を高める。 ・指定管理者が行うPR活動を支援していく。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			●																				
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								
・施設の利用者を増やすために指定管理者はイベント等の開催などで努力をしているものの、施設の老朽化と快適設備の不十分さで他の競合する施設に比べて評価が低い。 ・利用者の増加を求めるのなら施設の改修は不可欠であり、事業費が膨らむことになる。																								

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長	田中聖一
-------	------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	指定管理者である(株)小川は、可能な範囲で利用者を増やすための努力をしている。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)																						
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・施設建設から20年以上が経過し劣化が進んでおり、計画的な修繕を行っていく必要がある。 ・震災により工事関係者等の利用が多くなり、利用料金の収入が多くなっている。このことから指定管理等の委託料について関係者と協議していくこととする。																						
(5) 改革・改善による期待成果																						
左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項